

活動名	<h2 style="text-align: center;">キャンプファイヤー (野外活動)</h2>		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然の中で、ひとつの炎を囲み、心静かに自分自身を見つめ、行動をふり返る。 ○ ダンス、スタンツなどの創意工夫の中で、仲間との連帯感や友情を深める。 ○ 楽しい活動を通して、明日へのよりよい生活への意欲をはぐくむ。 		
条件	場所 大屋根広場・森の広場 時間 1時間～2時間 (天候、人数に応じて変更有) 時期 春～秋	対象 小学校高学年以上 人数 20～200人 (トーチサービスは人数制限有り) 天候 小雨可 強風(風速5m以上)不可	
提出物	書類 木材注文票 用具貸出票	経費 トーチ棒(完成品):1本205円 トーチ用角棒:1本115円(3×3×92cm) 薪:1籠1,100円(すべてR3.4.1現在)	
準備物	貸出 <input type="checkbox"/> CDラジカセ <input type="checkbox"/> マイク <input type="checkbox"/> ランタン <input type="checkbox"/> 消火用バケツ	団体準備 <input type="checkbox"/> 長袖 <input type="checkbox"/> 長ズボン <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> マスク (個人準備) <input type="checkbox"/> 灯油(トーチ10本で10が目安) <input type="checkbox"/> チャッカマン <input type="checkbox"/> 衣装 <input type="checkbox"/> CD <input type="checkbox"/> スタンツ関係	
展開	事前 準備 (学校で) <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいと当日の流れ(3部構成)を設定する。 ・役割(火の神、火の巫女、火の守、司会など)を分担する。必要に応じて練習を行う。 準備 (本番30分前) <ul style="list-style-type: none"> ・トーチ棒に灯油をしみこませておく。(児童生徒数+火の神、火の守用) ・司会のリハーサル、音響機器(CDラジカセ操作)、照明器具の確認 ・第1部の火の神入場からファイヤーサークル点火までの流れを確認する。 ・第3部のトーチサービスで、隣と十分な間隔をとりながら自分の立ち位置を覚える。 ・服装:長袖、長ズボン、軍手 衣装セッティング:火の神、火の巫女、火の守 引率者役割分担(例) <ul style="list-style-type: none"> ・司会進行補助:1名 ・火の神:1名 ・入場補助:1名 ・消火安全管理:全員 (・照明担当:1名 ・撮影記録:1名 ・トーチ補助1名など、人数が少ない場合は兼務) 		
	活動 第1部 迎え火のつどい:セレモニアルファイヤー(20～30分) ①開会 ②火の神・巫女入場 ③火の神の言葉 ④火の守分火 ⑤誓いの言葉 ⑥点火 第2部 交歓のつどい:ボンファイヤー(20分～) ①レクリエーション(ダンス・スタンツなど) 第3部 送り火のつどい:メモリアルファイヤー(20～30分) ①トーチサービス ②閉会		
	事後 片付け <ul style="list-style-type: none"> ・トーチサービスで使ったトーチ棒を消化用バケツに入れて消火する。→炊事棟Aの裏へ運ぶ。 ・井桁の薪は燃え尽きるまで燃やす。燃え尽きた後、炭や燃えカスを掃除する。 		
安全管理	<input type="checkbox"/> 火気取扱い <input type="checkbox"/> 強風注意	火の神・巫女入場 ファイヤーサークル	分火・点火 トーチサービス
配慮事項	大屋根広場があるので、多少の雨でも実施は可能である。ただし、人数制限があるため、トーチサービスなど、クラスごとに分散して実施する場合もある。大勢で火を扱う活動になるため、トーチ棒の持ち方など安全面の指導を繰り返し徹底する必要がある。トーチサービスでの火の移し方は、火が着いた人は、自分の場所から動かず、火の着いていない隣の人が動いて火をもらうように徹底する。		

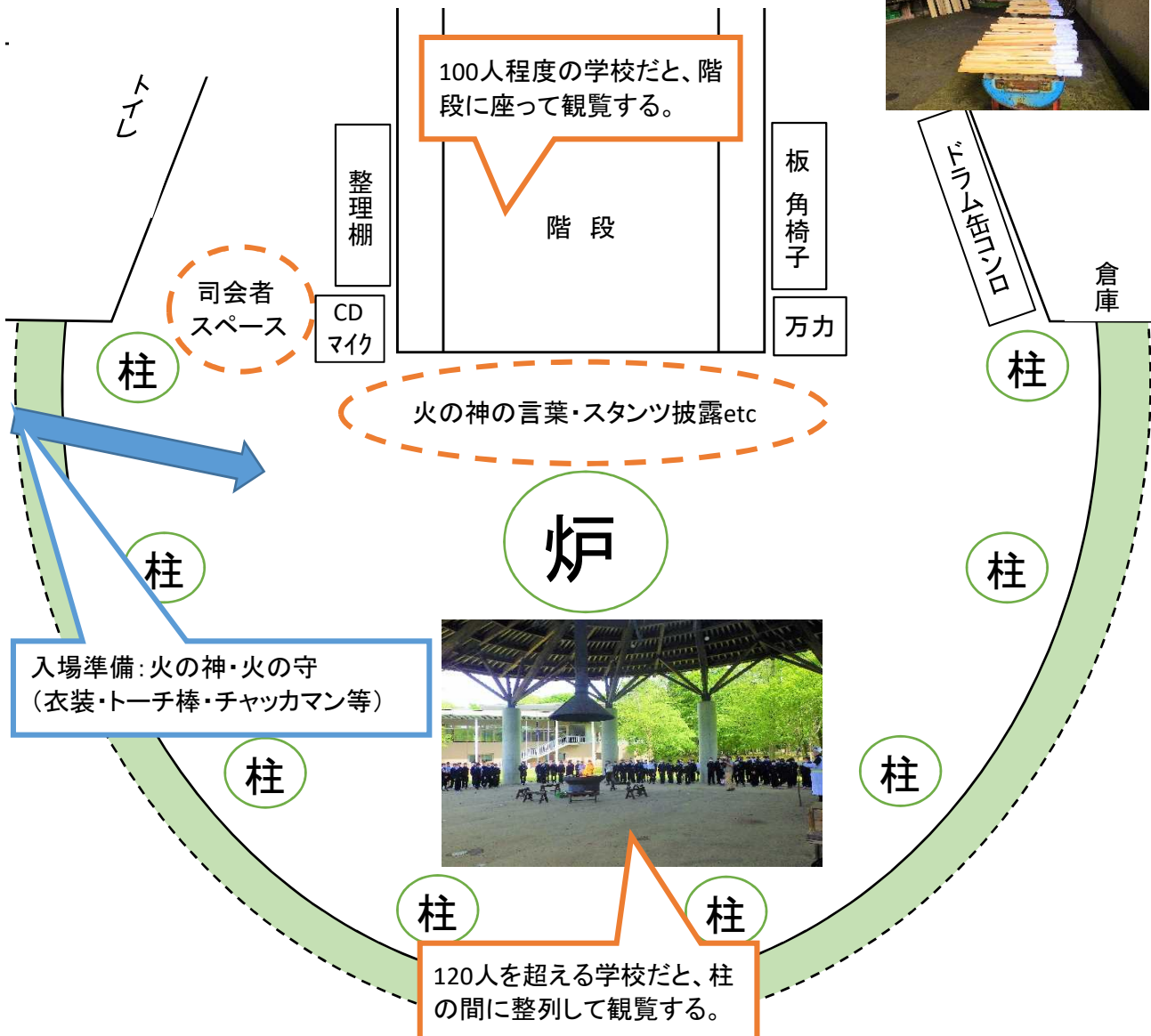
場のイメージ

準備 CDラジカセやマイク等、音響設備は、階段に向かって左側に準備する。
照明は、階段に向かって右側にある倉庫内で調節する。
階段下脇にあるドラム缶コンロの上に、灯油を付けたトーチ棒を並べる。

展開 事前 流れと安全面の配慮を確認する。

活動 第1部 迎え火のつどい(セレモニアルファイヤー)
・火の神入場:大屋根広場脇
・児童生徒観覧場所:階段(100人程度)or柱の間に整列(120人以上)
第2部 交歓のつどい(ボンファイヤー)
・スタンプ披露(階段下)・ダンス(炉の周辺 ※炉には近付かない)
第3部 送り火のつどい(メモリアルファイヤー)
・トーチサービス(大屋根広場の炉を中心に2~4重円 ※要相談)

事後 トーチ棒を消火用バケツで消火後、炊事棟Aの裏に運ぶ。
薪が燃え尽きた後、使い終わった炉をきれいに掃除する。



参考資料



- 火の神々が大屋根広場の脇から入場する。BGM:「遠き山に日は落ちて」



- 火の神の話に耳をかたむける。



- 火の神が火の守に分火し、それぞれ誓いの言葉を述べる。



- 中央にある炉に進む際は、引率者が付き添うか誘導し、井桁に安全に点火する。



- BGM:「燃えろよ燃えろ」をみんなで歌い、火の神、火の守は退場する。



- 階段下に広がってスタンプを行う。学級のまとまりや学年の団結力が試される。



- ダンスは、炉から離れて広がり、十分な間隔を空けて安全に踊る。



- トーチサービスは、更に広がって前後・隣同士十分に間隔を空けて行う。BGM:「今日の日はさようなら」など